**本事例記録用紙は当講座ホームページ（** [**http://plaza.umin.ac.jp/~j-eisei/renkei/shujii.html**](http://plaza.umin.ac.jp/~j-eisei/renkei/shujii.html) **）**

**よりダウンロードし先生方ご自身のPCで入力後にご郵送いただくことも可能です**

事例記録用紙（主治医向け）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ①年齢 | 歳 | ②性別 | 男 ・ 女 | ③病名 |  |
| ④連携の状況 | □有→（□連携により良い結果が生まれた　・□よい結果が生まれなかった）□無→（□連携を行わなかった・□連携を行えなかった） |
| ⑤業種（１つ選択） | □不明　　　□農業、林業　□漁業　□鉱業、採石業、砂利採取業　□建設業　□製造業　□電気・ガス・熱供給・水道業　□情報通信業　□運輸業、郵便業　□卸売業、小売業□金融業、保険業　□不動産業、物品賃貸業　□学術研究、専門・技術サービス業□宿泊業、飲食サービス業　□生活関連サービス業、娯楽業　□教育、学習支援業□医療、福祉　□複合サービス事業（郵便局・協同組合）　□サービス業　□公務　□その他 |
| ⑥職種 | □正社員（管理職）□正社員（一般）□パート・契約社員□その他( )□不明 | ⑦従業員数 | □50人未満　　　□50人以上300人未満□300人以上500人未満　□500人以上1000人未満□1000人以上3000人未満　□それ以上　　　□不明 |
| ⑧連絡内容（複数回答可） | 産業医等　→　主治医□　事業場や部署、本人の業務内容の連絡□　事業場の産業保健スタッフや管理監督者に関する情報□　病気休業や職場復帰に関する社内の規則□　休業期間や休職時の給与などの取り扱いに関する情報□　作業環境の詳細　　　　　　□　その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）主治医　→　産業医等□　疾病に関する情報□　労働者への配慮に関する情報□　その他　　　（　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ⑨連携に用いた書式の有無 | 　（あり　・　なし）　　　　　　　「あり」の場合、書式は誰が用意したものですか□先生（回答者）が用意した　 　　　　　　□患者の勤務先が用意した □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）※書式がお手元にある場合、差支えなければ書式を同封してお送りいただきますと幸いです。 |
| ⑩費用 | □文書料（診断書代等）として処理　　□診療情報提供料として処理　　　　　　　　それらの場合、　□本人が負担した　　□患者の勤務先が負担した　□不明差支えなければ金額をご教示ください　**（　　　　　　　　　　　　　　）円**□特に費用を発生させなかった　※上記のように処理をした理由をお教えください（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）**うらへ続きます→** |
| ⑪経緯と転帰（可能な範囲でご記入をお願いします） | **本事例では、産業医から主治医へ、主治医から産業医へ、の情報伝達を計何回行いましたか****産業医⇒主治医へ計（　　　　）回、　主治医⇒産業医へ計（　　　　）回**（情報伝達の開始はどちらから？(〇をつけてください)　　産業医から　　主治医から　　）**このうち文書での伝達は（　　　）回、面談では（　　　）回、電話では（　　　）回**面談があった場合、職場からの同席者は誰でしたか？（〇をつけてください）　　　産業医、看護職、患者の上司、職場の人事担当者、衛生管理者　　　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

* **26,27年度のパイロット研究の際にご提示いただきました事例と同一事例の場合は左にチェックを**

|  |
| --- |
| ⑫　うまくいった（うまくいかなかった、行わなかった）理由やポイントなどをご記入ください。 |
|  |

**【重要】私共は、ご回答いただいた連携事例等をもとに事例集やガイドライン等の作成を考えております。これら資料の充実のためにも、さらに詳細な情報提供を頂くこと（インタビュー調査など）に、ご同意いただけるようでしたら、以下にご都合のよろしい連絡先をご記入ください。**

お電話番号、E-mailアドレスなど：